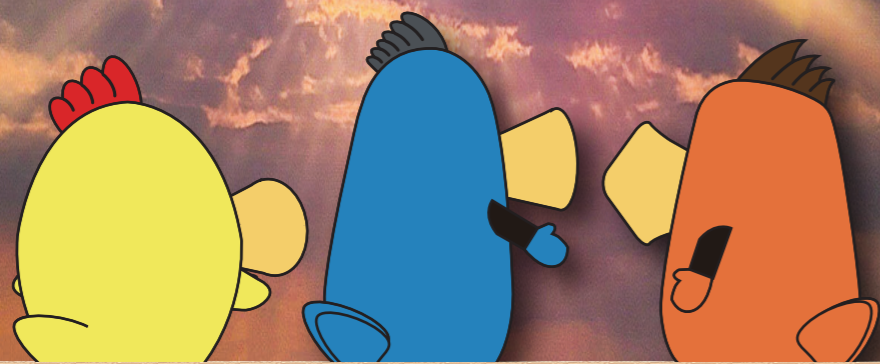


■発行
大分市旭町文化センター
大分市旭町1番1号
TEL・FAX(097)546-2772
発行年月日 2023年7月1日

歩み続けよう 明日はいつも新しい日



8月は「差別をなくす運動月間」です

大分市では、8月を「差別をなくす運動月間」とし、同和問題(部落差別)をはじめとするあらゆる人権問題についての正しい理解と、差別のない明るい社会づくりをめざして、さまざまな啓発活動を行っています。

旭町文化センターにおきまして、差別をなくすための取組として、「暮らしの中の人権講座」、「人権を考える講演会」を開催します。

ぜひ、この機会に自分自身の人権意識を見つめ直してみませんか。



決意を胸に

大分市教育委員会 教育長 佐藤 光好

私には、部落差別に関わることもいろいろ、苦しい記憶があります。およそ40年前のことでありますが、以来忘れることも消すこともできず、ずっと心の大きな重しとなっていました。

私が結婚して間もない頃、親戚が私の家を訪ねて来た時のことです。お祝いを一通り述べたあと、「悪いけど、お前の嫁さんのことについて、親父(私の父)に調べさせたんじゃない。なんも無うてよかったのう。」と話をしたのです。最初、「なんも無うて」の意味が理解できなかったのですが、その後の話からその意味がわかり、深い憤りの後に言いようもない虚脱感が湧いて来たのを覚えていました。

私は、差別がもつ陰湿性、不合理性、非人間性を一所懸命に説き、差別を許さず、なくして欲しいと子どもたちを育成しようとしている一方で、こんなにも身近なところに部落差別の現実があることを突きつけられたのです。言葉にならないくらいショックだったことは言うまでもありません。

しかし、その時、私には、父や親戚を責めたり、問いただしたりすることもできず、また憎む気にもなれませんでした。何故なら、このこと以外では、一人とも、優しく正直者で尊敬すべき善意の人たちだからです。その善良性の中に潜む差別が偶然にも顔をのぞかせてしまったのだ、と無理矢理に自分を納得させることで、決して許されない差別を見過していることへの救いを誰かに乞うついていたのかも知れません。ただ、あの場できちんと向き合い間違いをただすべきであったという思いが今も強く残っています。それ以来、差別の現実に直面した時、自分のあるべき姿について常に自らに問い続けています。

昨年は、「全国水平社結成100年」の年でしたが、今年度は1924年3月30日、別府市において大分県水平社の設立大会が開催されてちょうど100年の節目の年度にあたります。改めて、水平社宣言の内容に触れるとき、厳しい言葉の中にも、そこには、自らの誇りと他者への愛を感じずにはおられません。詩人八木重吉さん、彼の詩「ゆるし」の「神のことへゆるしたい ひとが投(な)げ(る)てくしみをぬねにあたため 花のようになつたらは神のまえにささげたい」が宣言文と重なるように感じます。

「差別はする側の問題である」ということをしっかりと胸に刻むとともに、40年前の自分の行動を戒めとし、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消、撤廃を目標として歩んでいきたい、と大分県水平社結成100年にあたるこの年、改めて感じています。

●開館時間

午前9時から午後10時まで
(教室の開催時刻により
閉館時刻は異なります。)

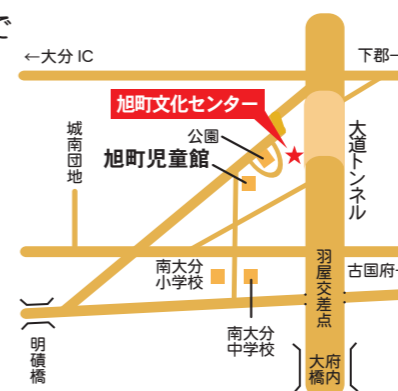
●休館日

土・日曜日・国民の祝日
及び休日・年末年始

●お問い合わせ

午前8時30分から
午後5時15分まで

☎546-2772



センター通信

今年度の人事異動で、旭町文化センターに着任しました佐伯です。皆さまとのふれあいを大切に、気軽にご利用して頂けるよう務めたいと思いますのでよろしくお願いたします。



人権を考える講演会

日時 8月3日(木) 午後1時30分～3時

経歴 四国学院大学特別推薦入学選考「被差別部落出身者枠」第一期生
徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局
徳島県人権エンタメ集団「友輝」リーダーとして、
全国各地から招待され、年間約100回の講演を行っている。
「通算講演回数は3000回以上!!」



なかから しげき

演題 「ぬくもりを感じて(止揚の生み出すもの)」 **講師** 中倉 茂樹 さん

講師紹介 1977年3月23日徳島県吉野川市(旧麻植郡)山川町に生まれる。小学校時代にいじめを受け部分的記憶喪失になる。中学校時代に同級生がいじめられ不登校になる。毎日、彼の家に様子を見に行っていたが、教室に戻ってくることはなかった。そんな中、彼のお父さんがノイローゼになり自殺に追い込まれる。そのとき、絶対に許さんという怒りが込み上げてきた。高校時代に、人権集会で「部落民宣言」し、本当の仲間としてつながることができた。このとき感じたぬくもりをみんなに伝えられる人間になりたいと決意してから私の本当の同和問題学習が始まった。そして、待っていたのは差別との闘いであった。

講師メッセージ 私は、結婚差別と闘う今の自分の経験や闘いを通し、全国みんなに同和問題学習はすべての人間が幸せになるための勉強であることを伝えています。現在は、人権啓発の新しい手法(エンターテインメント)を仲間と考案中です!!

夏休み 親子ビデオ鑑賞会に来ませんか

日時 7月27日(木) 午後2時～3時30分

42分 ボクとガク あの夏のものがたり (アニメ)

小学5年生の希望(のぞむ)と岳(がく)と、近所の美代おばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や、地域で育む人権文化に目を向け、また次の世代に語り継ぐものとして「戦争と平和」についても描いています。

37分 パースデイ

性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人は自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現を目指すことを目的とした作品です。

お知らせ 健康相談

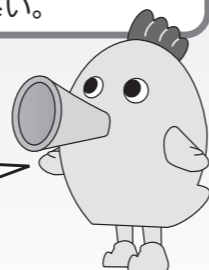
保健師による血圧測定や健康に関する相談をお受けします。

日時 9月11日(月) 午後1時30分～3時

場所 旭町文化センター 中会議室

※健康手帳をお持ちの方はご用意ください。

お友達と一緒に来てね!



2023年度

暮らしの中の 人権講座

暮らしの中の

旭町文化センターでは、* “学ぼう・気付こう・とりくもう”を合い言葉に、毎年さまざまな分野から講師をお招きし、「暮らしの中の人権講座」を開催しています。

人権は、一人ひとりがお互いに尊重しあわなければならない生活の基本となるものです。わたしたちは、誰もが毎日を幸せに暮らしたいと願っていますが、身近なところで、なにげなく口にした言葉や行動により、相手を直接または間接的に傷つけてしまうことがあります。また、インターネット上では、モラルの低下による差別の深刻化が新たな問題となっています。

本講座を通して、あらゆる人権問題について考え、より一層認識を深める機会になればと思います。



1回目 7月13日(木) 午前10時～11時30分

講師 公益財団法人住吉隣保事業推進協会 職員
大阪公立大学 非常勤講師
関西大学 非常勤講師

ふじもと まほ
藤本 真帆さん

演題 『部落差別とわたし～住吉にうまれて』

4回目 10月5日(木) 午前10時～11時30分

講師 Demo 代表・教育ファシリテーター

たけだ みどり
武田 緑さん

演題 『部落問題のいま～私たちにできること～』

2回目 8月24日(木) 午前10時～11時30分

講師 西麻植中・高生友の会 たんぼほの会 主宰

あべ ちあき
阿部 千明さん

演題 『人間として生きるには 人を人として大切に』

5回目 12月8日(金) 午前10時～11時30分

講師 前 大分市教育長

みうら きょうじ
三浦 享二さん

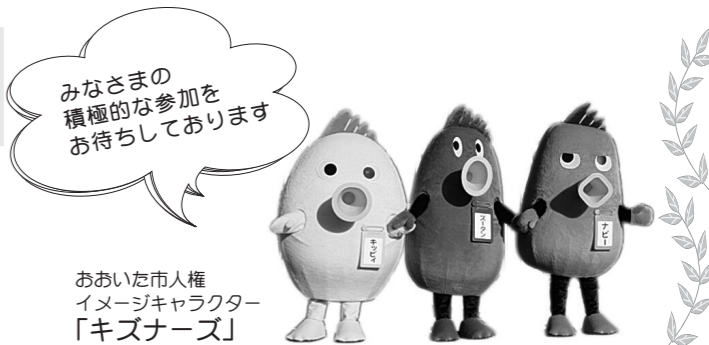
演題 『「豊かな感性」を考える』

3回目 9月7日(木) 午前10時～11時30分

講師 静岡大学教授

くろかわ みどり
黒川 みどりさん

演題 『部落問題を普遍的課題に -近代の歴史をふり振り返りながら』



募集 パソコン教室 (Windows11)

7回 エクセル・ワード編

毎週火曜日 9月5日～10月17日 午後1時30分～3時30分

定員 10人

簡単な文書の作成や表計算をします。

7回 暮らしの中のパソコン編

毎週水曜日 10月11日～11月29日 午後1時30分～3時30分

定員 10人

インターネットの楽しみ方や、はがきの作成など暮らしの中で活用できるコースです。

申込方法 当センターにご来館のうえ、直接お申し込みください。

受講料は無料(教材費等は自己負担)です。

募集期間 7月3日(月)～7月14日(金)～

※定員(10人)を超えた場合は抽選になります。